

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語Ⅱ-2	
科目基礎情報							
科目番号		5202		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		建築学科		対象学年		2	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		『精選論理国語』（明治書院）、『精選古典探求 古文編』（明治書院）、『新訂総合国語便覧』（第一学習社）					
担当教員		善塔 正志					
到達目標							
1)論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 2)文学的な文章（物語や随筆）に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。 3)整理した情報をもとに、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫した報告を行ったり、文章を作成することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		構成と展開を説明でき、大意を捉えて要約ができる。		構成が説明でき、要約できる。		要旨は分かるが、構成を捉えられない。	
評価項目2		人物形象から主題を捉え、批判的に考察できる。		登場人物の整理ができ、主題が捉えられる。		人物造型の違いは把握できるが、主題が捉えられない。	
評価項目3		明確な意見・結論を論理的・実証的文章として構成・展開できる。		明確な意見とそれを表す段落構成を作成できる。		結論・意見を設け、段落分けできるが論理性・実証性に乏しい。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		小説や評論、古典文学など、様々な文章を読むことを通し、豊かな感性と論理的思考力を養い、的確な読解力と表現力を獲得する					
授業の進め方・方法		授業は講義形式で行う。適宜に小テストを行い、習熟度を確認する。					
注意点		国語は理科系科目も含めすべての教科の基礎であることを念頭に、予習・復習を怠らず積極的に授業に取り組むこと 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス、「日本文化の雑種性」の読解		自身の課題を捉えて目標を立てることができる		
		2週	「日本文化の雑種性」（加藤周一）の読解		文章の構成を理解できる		
		3週	「日本文化の雑種性」（加藤周一）の読解		内容を理解した上で、自分の意見を述べることができる		
		4週	「日本文化の雑種性」（加藤周一）の読解		表現に即して内容を理解することができる		
		5週	「貨幣は言葉である」（丸山圭三郎）の読解		文章の構成を理解できる		
		6週	「貨幣は言葉である」（丸山圭三郎）の読解		内容を理解した上で、自分の意見を述べることができる		
		7週	「貨幣は言葉である」（丸山圭三郎）の読解		主題を理解し、作品に対する自分の意見を述べることができる		
		8週	「貨幣は言葉である」（丸山圭三郎）の読解		内容を理解した上で、自分の意見を述べることができる		
	4thQ	9週	「養和の飢饉」（方丈記）の読解		文学史の上から理解できる。適切に音読し、文意を理解できる		
		10週	「養和の飢饉」（方丈記）の読解		適切に解釈し、教科書の設問に答えることができる		
		11週	「養和の飢饉」（方丈記）の読解		表現の特徴を理解できる		
		12週	「小柴垣のもと」（源氏物語）の読解		適切に音読でき、本文の構成と展開を説明できる		
		13週	「小柴垣のもと」（源氏物語）の読解		適切に解釈し、教科書の設問に答えることができる		
		14週	「小柴垣のもと」（源氏物語）の読解		作品内容に対して批判的意見をあげることができる		
		15週	「小柴垣のもと」（源氏物語）の読解。問題点の整理		作品内容に対して批判的意見をあげることができる		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	後2,後5	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	後7,後13,後14	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	後9,後10,後11,後12,後15	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	後2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	後8	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	後9	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	後2,後6,後7,後8	

				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	後3,後7,後8	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後1,後15	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	後3,後15	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	後8	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	後11	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	後12	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	後4	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	後8	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	後8,後15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0